

お知らせ

- 8月の臨時活動日；8月7日（金）、9時30分第二駐車場集合。植生調査及び9月21日活動の資材等準備。多くの会員の参加を歓迎します。参加者は上記アドレスにメールまたは電話ください。
- 9月の定例活動日；9月21日（月、休日）実施要領は3頁里山活動体験「ニホンシカと共生する森づくり」の通り。3頁の参加者募集チラシを最寄りの県民の森や公民館などに配布をお願いするとともに、千年の森、里山センター等のホームページ掲載により、参加者募集を行っています。チラシ配布可能な方は上記アドレスに必要部数を連絡くだされば郵送します。会員の事前準備及び当日参加によるご協力をお願いします。

活動の記録

7月20日（月、休日）晴 参加は新井夫妻、安藤、石井、伊藤、鶴沢、大賀、甲斐、久我夫妻、栗山、坂本、根本、福島、松本、真鍋、村野、森の18名 天候にも恵まれ、相対照度測定、巨木林調査、マダケ保護状況調査、食害調査など予定していた作業を全て完了しました。参加の皆様お疲れ様でした。



梅雨明けの爽やかな豊英島で

○巨木林調査；大賀先生他応援2名。巨木林の調査区において、確認を残していた林床木本42件の番号札を確認し種の同定を行い今季の調査を完了した。

○相対照度測定；照度計・トランシーバーの操作説明と照度測定要領の説明後、6班に分かれて着葉期の相対照度測定を行った。林外の照度を担当する1班は吊り橋上、2～6班はコナラ更新林、マダケ林、千年広場、シイタケほだ場、巨木林、ヤマユリ保護柵、ミヤマガマズミ保護地など10地点を分担して測定。続いて巨木林調査区保護柵内を4㍍間隔で30地点、保護柵外を5㍍間隔で9地点測定した。後半は太陽が出たために、照度計に直射日光が当たらないように測定したが、測定値は変動が大きかった。また、今回はみどりの基金助成により購入した照度計が2台加わったため、以前に比べて多点で同時測定が可能となった。



照度計と測定方法の説明

前半の島内各地点における相対照度は表-1のとおり。相対照度は、千年広場とコナラ更新林の中でも一番明るいコナラ苗畑で20%台と高く、次に高かったのはマダケ林、ヤマユリ保護柵、2-13モミ混じり巨木林、その他はシイタケ柵場を含めて5%以下であった。

表-1 各地点の相対照度

測定箇所	相対照度 (%)
2-7モミ混じり巨木林	0.8
2-13モミ混じり巨木林	8.1
3-16シイタケ柵場	2.4
4-16シイタケ柵場	1.0
千年広場中央	23.3
コナラ更新林の苗畑	27.1
ホテイチク保護柵横	3.9
マダケ保護柵の間	16.3
ミヤマガマズミ	1.3
ヤマユリ保護柵の中	9.8



巨木林調査区測定

この活動は2009年度セブン・イレブンみどりの基金の公募助成を受けています

○マダケ保護状況調査；マダケ林の今年度の発生状況とあわせ、これまでの発生竹の生存状況を調査した。

その結果、09年の発生は、防護網の効果があり31本と調査開始以降最高の数字であった。

参考までに年次別発生数と現在生存数（括弧内）は次のとおりである。保護開始前の04、05年は0本、06年が10本（10本）、07年が12本（6本）、08年20本（15本）であった。

今後の竹林の管理については、竹材の利用も含めて検討することとした。



新マダケの標識と年次別生存数調べ

○食害調査；2班に分かれて食害調査を実施した。大賀班は景観管理林南からマダケ林・ホテイ岬方面を、福島班はコナラ更新林から巨木林を中心に調査した。

今回の調査では、新たな食痕や糞はほとんど発見できず、だいぶ前に食害を受けた（それも激しく）個体が、枯死せず新芽を出し生き返ろうとしている姿を確認する場面が多かった。この時期、緑が多く、動物たちも食べるものが豊富で、人間の目には、気がつかないということか？ アオキ、イヌツゲ、イヌカヤ等冬季から春先に激しく葉や茎を食われたり折られたりした木本のものが何とか再生しようと新芽を出している姿が顕著に見られた。（この項新井記）



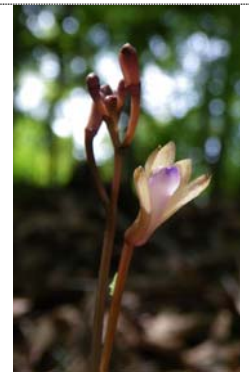
食害調査

豊英島の植物たち



ツチアケビの実

ヤマユリは保護柵内で開花1輪、間もなく咲きそうなつぼみが1輪でした。5～6月に保護した広場脇のツチアケビは金網が外れて実を失くしていますが、ホテイ岬と森入口側の株はソーセージ状の実をつけていました。実を試食したFさん談「美味しくない、鹿がなぜ好むか分からない」とのこと。千年広場脇や巨木林のクロムヨウランは白い小さな花を覗かせ始めていました。崖のイワタバコは花期を終え、イズノシマダイヤモンドソウは秋の開花待ちでした。



クロムヨウランの花

豊英島の動物たち

ホテイ岬のマダケ林-ホテイチク境界部に設置したセンサーカメラに、ニホンジカやノウサギの画像が多数映っていました。人気のない豊英島はシカやウサギなど動物たちの天国のようです。



09年6月19日3時13分撮影



09年7月6日17時05分撮影



09年7月12日11時47分撮影

みどりの基金の活動助成により購入・設置したセンサーカメラは森の動物の生態調査に威力を発揮しています。

ニホンジカとの共生を目指す森づくり

(主催) ちば千年の森をつくる会 (協賛) 清和県民の森 (後援) ちば里山センター

日時 9月21日(月、敬老の日)午前9時30分～午後3時30分(雨天決行)
場所 君津市 豊英島(「ちば千年の森をつくる会」の活動フィールド)
集合 清和県民の森第2駐車場(県民の森管理事務所下、下記交通アクセス参照)

9時30分集合後、車に分乗して豊英島に移動

内容 講義:「ニホンジカの生態と植生への影響」

活動体験:ニホンジカ生息状況調査、

植生・食害状況調査、植生保護対策



募集人員 30名程度

持ち物 作業に適した服装と履物・手袋・時計・雨具・筆記用具

昼食・味噌汁用お椀・その他各自必要な物、

参加費 無料 なお当日参加者は傷害保険に一括加入(保険料は主催者払)

申込方法 氏名・性別・年齢・住所・メール・電話番号を記入し別紙の要領で下記に申し込みください。

メールのある方 tgysk665@yahoo.co.jp 「ちば千年の森をつくる会」宛てメール

メールのない方 〒284-0043 四街道市めいわ3-23-13 「ちば千年の森をつくる会」

宛て郵送、FAXも可

お問合せ ちば千年の森をつくる会 電話&FAX 043-432-1450 e-mail tgysk665@yahoo.co.jp

当日の連絡先(携帯)090-3809-7907

清和県民の森 電話 0439(38)2222

e-mail: seiwa-mr@welcomechiba.jp

交通アクセス 館山道君津 IC を下りて信号を左折。県道92号、国道410号を經由して約24km。

詳しくは・・・国道410号を鴨川方面にしばらく行くと新豊英トンネルを通過します。今度は右手に大きな鳥が目印のロマンの森を通過します。次に右手に茶色のマンション2棟を通り過ぎたら左前方に管理事務所があり、手前を左折すると第二駐車場があります。(ロッジ村、キャンプ場入り口の看板があります)



ています

メールの方は下記申込書に記入の上 tgysk665@yahoo.co.jp 宛添付送信下さい。

里山活動体験「ニホンジカとの共生を目指す森づくり」参加申込

参加者氏名	性別・年齢	メールアドレス	電話番号	〒・住所

メールのない方はハガキに下記事項記入の上

〒284-0043 四街道市めいわ 3-23-13 ちば千年の森をつくる会事務局
宛て郵送ください。FAX も可。

9月21日里山活動体験参加申込	
参加者氏名	_____
性別・年齢	_____
電話番号	_____
〒	_____
住 所	_____

